

製品名: Silk Test 14.0**リリース日: 2013年7月4日****1. はじめに**

マイクロフォーカスは、テスト自動化ツールの新バージョンである Silk Test 14.0 をリリースいたします。

2. サポートプラットフォーム

Silk Test 14.0 は、下記のプラットフォームをサポートします。

- > Windows 8 Professional、Windows 8 Enterprise
- > Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate
- > Windows 7 SP1 Professional、Windows 7 SP1 Ultimate
- > Windows Vista SP2 Business、Windows Vista SP2 Ultimate、Windows Vista SP2 Enterprise
- > Windows XP SP3
- > Windows Server 2008
- > Windows Server 2008 R2
- > Windows Server 2012

3. テクノロジードメインとブラウザサポート

テクノロジータイプ	Silk Test Workbench, Silk4NET, Silk4Jでサポートされるテクノロジー
Adobe Flex	4.0, 4.1, 4.5.1, 4.6
Firefox	17, 18, 19, 20, 21 (再生のみ)
Google Chrome	22, 23, 24, 25, 26, 27 (再生のみ)
Internet Explorer	8, 9, 10
Java AWT/Swing	Java 1.6, Java 1.7

Java SWT	3.6, 3.7
SAP	SAPGUI クライアント 7.10, 7.20, 7.30
Win 32	いずれも
WinForms	.NET 3.0, 3.5, 3.5 SP1, 4.0, 4.5
WPF	.NET 3.5 SP1, 4.0, 4.5
Silverlight	3 (Silverlight Runtime 4), 4 および 5 (Silverlight Runtime 4)
Rumba	8.1J, 8.1, 8.2, 8.3, 9.0

4. Silk Test 14.0 の新機能

> Google Chrome サポートの拡張

- Google Chrome 22, 23, 24, 25, 26, 27 のサポートを追加しました。

> Mozilla Firefox サポートの拡張

- Mozilla Firefox 17, 18, 19, 20, 21 のサポートを追加しました。

> SAP GUI クライアント 7.30 のサポート

- SAP GUI クライアント 7.30 のサポートを追加しました。

> テスト対象アプリケーションの静的メソッドの呼び出し

- Windows Forms または WPF コントロールがテスト対象アプリケーションの場合、オブジェクトで定義されたすべての静的メソッドと、すべてのユーザー定義の静的メソッドを動的に呼び出せるようになりました。

> Silk Test Workbench

- イメージ解決メソッドを利用して、オブジェクト解決またはテキスト解決で識別できない高度にカスタマイズされたコントロールを含むテストアプリケーションを便利に操作できます。また、テスト対象アプリケーションの UI にあるオブジェクトのイメージを使用して、オブジェクトが存在し、期待通りに表示されることを検証できます。
- WPF や Windows Forms アプリケーションをテストする場合、テスト対象アプリケーション (AUT) の実際のコントロールを操作する静的メソッドを含むコードを追加できます。このコードをスクリプトの再生時に AUT に挿入することも、コードを AUT にコンパイルすることもできます。その後、このコードを再生時にスクリプトから呼び出し、カスタムコントロールを操作できます。
- 資産管理用 DB として Microsoft SQL Server 2012 Service Pack 1 (SP1) がサポートされました。
- .NET スクリプトを編集しているときに、資産を右クリックして資産を開く を選択し、定義済みの資産を開くことができます。

- Locator Spy のロケータ属性テーブルには、ロケータで利用できるすべての属性が表示されるようになりました。

> Silk4NET

- イメージ解決メソッドを利用して、オブジェクト解決またはテキスト解決で識別できない高度にカスタマイズされたコントロールを含むテストアプリケーションを便利に操作できます。また、テスト対象アプリケーションの UI にあるオブジェクトのイメージを使用して、オブジェクトが存在し、期待通りに表示されることを検証できます。
- Silk4NET でオブジェクト マップを使用できるようになりました。
- Silk4NET のスクリプトを編集しているときに、資産を右クリックして資産を開く を選択し、定義済みの資産を開くことができます。
- WPF や Windows Forms アプリケーションをテストする場合、テスト対象アプリケーション (AUT) の実際のコントロールを操作する静的メソッドを含むコードを追加できます。このコードをスクリプトの再生時に AUT に挿入することも、コードを AUT にコンパイルすることもできます。その後、このコードを再生時にスクリプトから呼び出し、カスタムコントロールを操作できます。
- Locator Spy のロケータ属性テーブルには、ロケータで利用できるすべての属性が表示されるようになりました。
- テスト再生とロケータ記録に使用されるブラウザの変更は、使用するブラウザのアイコンをクリックするだけで行えます。

> Silk4J

- イメージ解決メソッドを利用して、オブジェクト解決またはテキスト解決で識別できない高度にカスタマイズされたコントロールを含むテストアプリケーションを便利に操作できます。また、テスト対象アプリケーションの UI にあるオブジェクトのイメージを使用して、オブジェクトが存在し、期待通りに表示されることを検証できます。
- Silk4J でオブジェクト マップを使用できるようになりました。
- Silk4J のスクリプトを編集しているときに、資産を右クリックして資産を開く を選択し、定義済みの資産を開くことができます。
- WPF や Windows Forms アプリケーションをテストする場合、テスト対象アプリケーション (AUT) の実際のコントロールを操作する静的メソッドを含むコードを追加できます。このコードをスクリプトの再生時に AUT に挿入することも、コードを AUT にコンパイルすることもできます。その後、このコードを再生時にスクリプトから呼び出し、カスタムコントロールを操作できます。
- Locator Spy のロケータ属性テーブルには、ロケータで利用できるすべての属性が表示されるようになりました。

- テスト再生とロケータ記録に使用されるブラウザの変更は、使用するブラウザのアイコンをクリックするだけで行えます。

5. Silk Test 14.0 の評価版入手方法

SilkTest 14.0 の評価版は以下の URL から申し込みできます。製品はインストールした日から 45 日利用できます。

<http://www.microfocus.co.jp/products/AMQ/product-trials/>